

小学生体験入学について（お願い）

○日程について：令和7年8月7日（木）＊予備日：8日（金）

	午前の部	午後の部
受付（45分）	8:45～9:30	12:45～13:30
学校説明会（45分）	9:30～10:15	13:30～14:15
体験授業（45分）	10:35～11:20	14:35～15:20

○駐車場について

お車でお越しの方は、本校のグラウンドに駐車してください。東門から入り、係員の指示に従ってください。お帰りの際は、西門をご利用ください。開門は受付開始時刻の15分前（午前の部は8:30、午後の部は12:30）、閉門は体験授業終了時刻の30分後とさせていただきます。近隣の方のご迷惑になりますので、路上駐車、近隣の施設への駐車はご遠慮くださいますようお願いします。また、交通渋滞を避けるため、できる限り公共の交通機関をご利用ください。

○駐輪場について

自転車やバイクでお越しの方は、正門から入って駐輪場をご利用ください。

○受付について

東教室棟の1階玄関にて受付を行います。受付開始時刻まで校舎の中には入れませんので、お車の中でお待ちください。メールに記載されている時間帯（午前の部・午後の部）、体験授業の講座（「国語①」「国語②」など教科と番号）をご確認のうえ、受付を行ってください。人数調整のため、第2希望・第3希望になっている方もいらっしゃいますのでご注意ください。

○持ち物について

体験授業に参加する児童は、筆記用具と上履き、下足入れ（ビニール袋など）を持参してください。保護者の方も上履きと下足入れを各自でご準備ください。スリッパの貸し出し、ビニール袋等の配布はありません。

○学校説明会について

学校説明会は、Zoomにて各教室に配信いたします。受付で案内される教室に入ってください。座席の数に限りがございますので、児童1名につき保護者1名の参加とさせていただいております。小さなお子様を連れていらっしゃる場合は、席をご準備いたしますので、7月中に電話でご連絡ください。

○体験授業について

児童が体験授業を受けている間、保護者の方は教室後方からご参観いただけます。他の教科の授業を見ていただいて結構です。

○写真等の撮影について

個人情報保護の観点から、カメラ・スマートフォン等での写真や動画の撮影はご遠慮ください。

○写真の使用について

本校係の者が記録用の写真を撮影いたします。お顔が正面から写っていない写真を、来年度の体験入学の案内リーフレットやポスターに、使用させていただければと考えています。写真の使用について許可いただけない方は、当日本校職員までお伝えください。

○アンケートについて

当日お渡しする資料にアンケートのQRコードが入っています。体験授業終了後、アンケートにご協力ください。

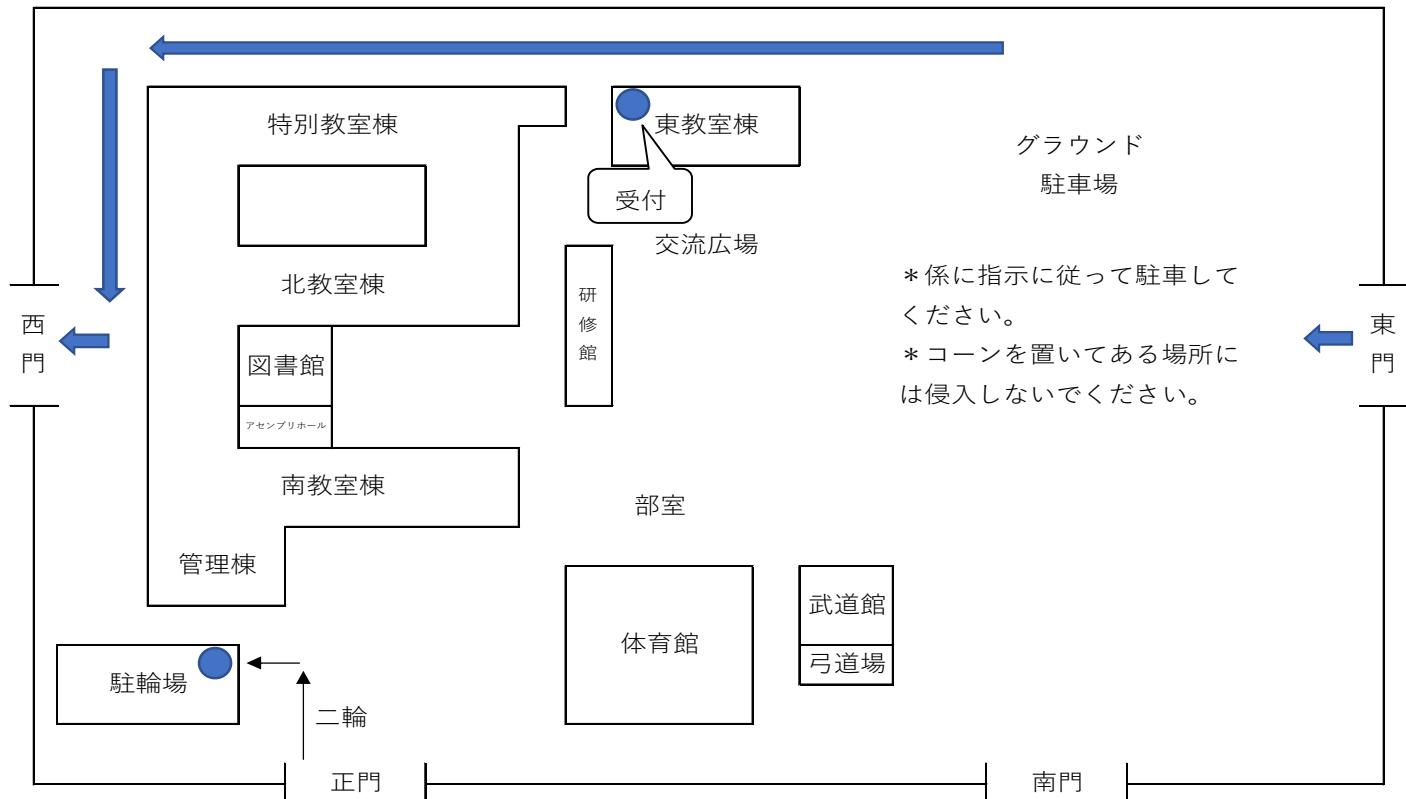
○熱中症対策について

教室ではエアコンを使用しておりますが、熱中症対策のため各自で水分補給ができるようご準備をお願いします。研修館前の自販機もご利用いただけます。

○体験入学の延期について

体験入学当日（8月7日）午前7時の時点で、徳島市に大雨・洪水・暴風警報及びすべての特別警報のいずれかが発令されている場合、体験入学は8月8日に延期します。この場合、日程の変更はありません。また、台風の接近等で開催が危ぶまれる場合は、前日正午までに開催の有無を本校HPでお知らせします。

○校地内平面図



○体験授業

教科	講座番号・講座名	内容
国語	①②思いを言葉にしよう	自分の思いを言葉に乗せて相手に届けよう。
数学	①楽しく学ぶ数学	中学・高校内容の数学を使って考えてみよう。
	②数で遊んで学ぶ	中学・高校内容の数学を使って考えてみよう。
	③遊ぶように学ぶ	日常生活と関係した話を使って遊ぶように学ぼう。
社会	①楽しく解く東京大学の入試問題	小学生も解ける東大の入試(地理)問題。あなたもチャレンジしよう。
	②古代ギリシアについて学ぶ	ギリシア神話と民主主義について学ぼう。
理科	①物理クイズ	日常の問い合わせて、物理法則に基づいて考えてみよう。
	②生き物のからだのつくり	にぼし(カタクチイワシ)を解剖し、背骨がある動物のからだのつくりを学ぼう。※魚アレルギーを持つ児童は参加しないようにしてください。
英語	①Let's talk in English!	授業、部活動、学校行事などなど、城ノ内での生活について英語で話してみよう。
	②Let's Enjoy English Together!	自分自身のことや城ノ内で楽しみにしていることについて英語で話してみよう。
プログラミング	①レゴロボットを動かそう！	タブレットを使ってプログラムを作成し、レゴロボットを動かそう。
	②逃亡中！防犯カメラから逃げよ！	Scratchで作った防犯カメラシステムの死角をくぐりぬけ、ゴールを目指そう。